タイトル：公民館再考

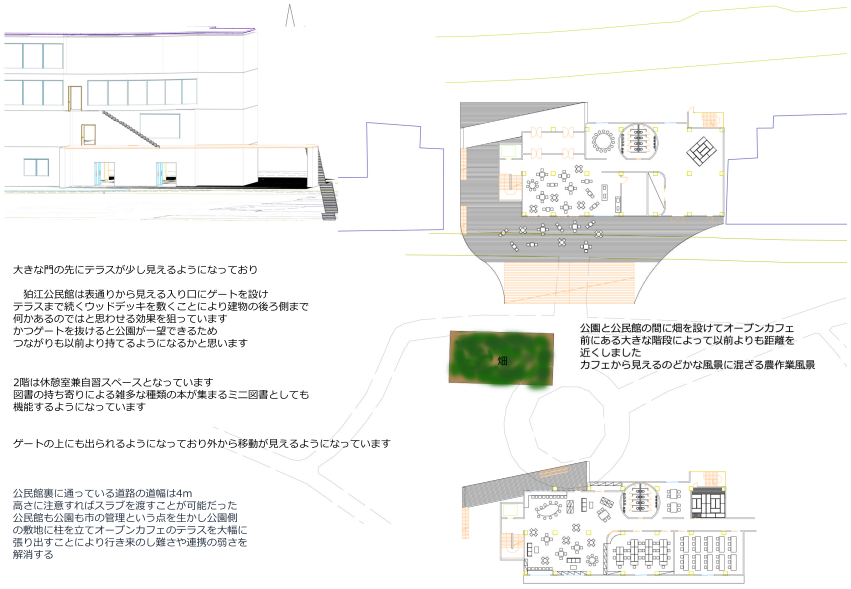
サブタイトル： ー都市コミュニティの可能性に向けてー

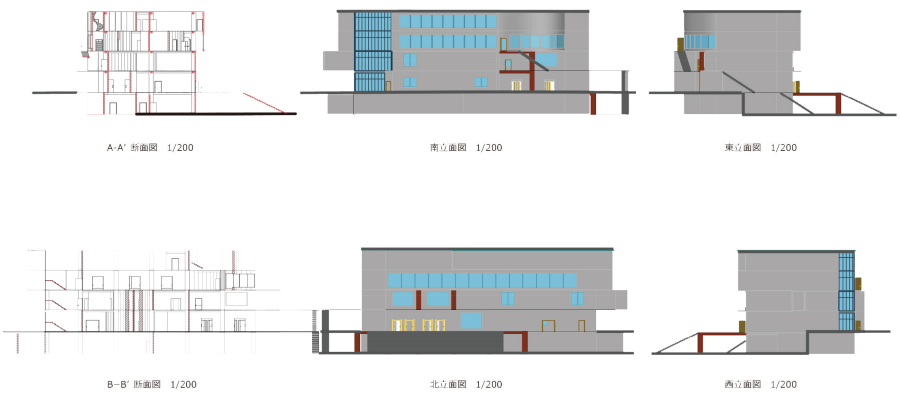
山口　翔大
建築設計計画研究室

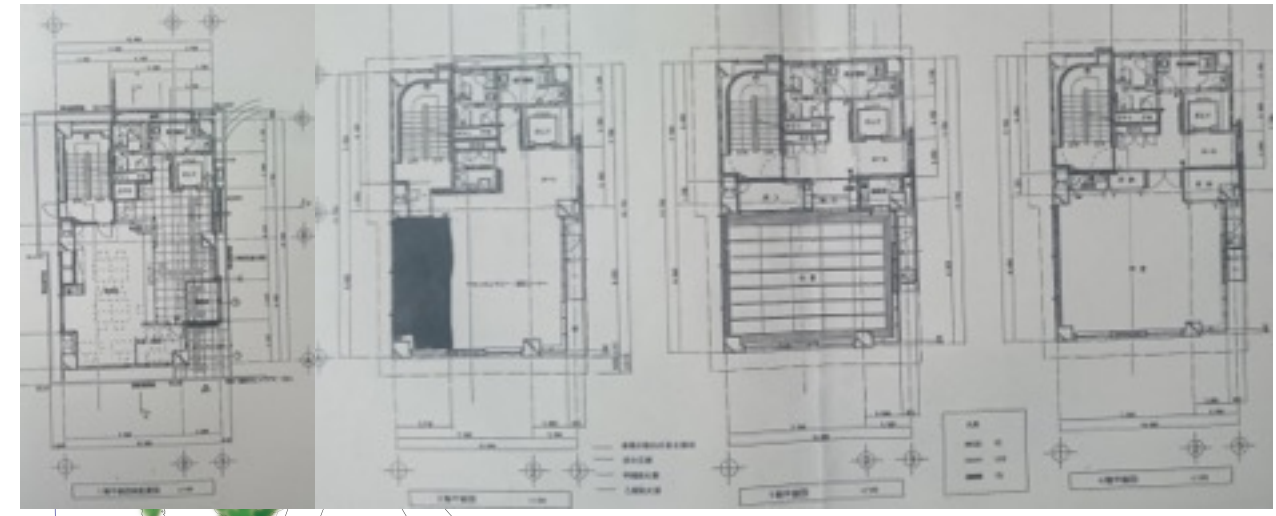
私が今回取り扱うのは公民館とその将来です　今後日本の人口が減り利便性を求めるため沿線部や都市部に人口が集中し二極化が強まることが考えられます　つまり今後地域指針を決めるため多世代コミュニケーションが必要になると想定していますその基点となる施設が公民館だと思っていますしかし今現在の公民館には様々な問題があります

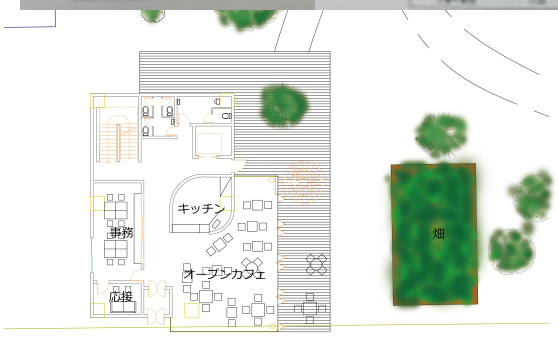
今回選定した敷地は郊外の狛江市西河原公民館もう一つは都心部の千代田区神田の区民館ですこの2つをリノベーションという形で提案します　共通プランとしては農園を作り目的かつ多世代交流を生むようにします　農園を作るのは実際に機能している神奈川県座間のホシノタニ団地がありそこから参考にしました

1,2階の間取りを開放的に変えカフェや自習スペースに持ち寄り図書を併設公園とは道路をまたぐテラスを作りその先に農園が見えるようにします　神田区民館は農園とオープンカフェをつくり表からも良く見える螺旋階段でつないで施設の上部にいざなう見た目としました　公民館のこれからはまず公民館がどういうものか知ってもらう気軽に訪れる心理的ハードルの低いものに変えていくことが重要だと私は考えます



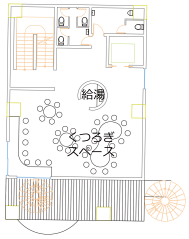




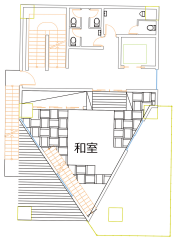


1階平面図　1/100

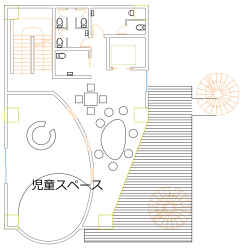
オープンカフェから見えるのは
畑とそこで作業するいろんな
年代の人たち



3階平面図　1/100



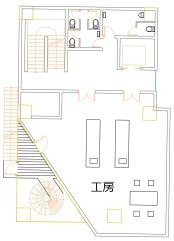
5階平面図　1/100



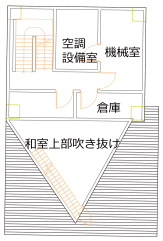
2階平面図　1/100

一階ウッドデッキから螺旋階段を
上がってくるとテラスとカーテン
ウォール、それにさらに上がる為の
螺旋階段まである

中では子供が遊び親が談笑している



4階平面図　1/100

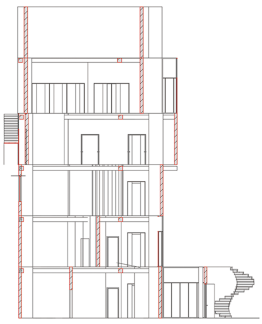


6階平面図　1/100

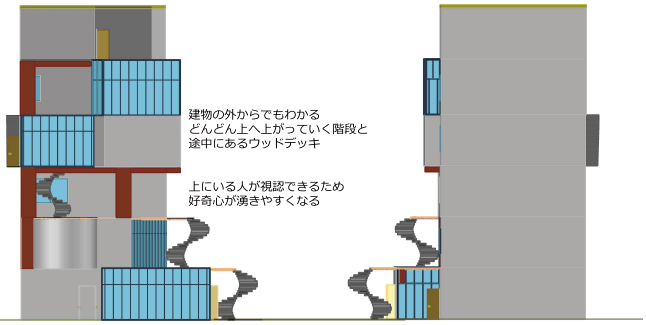
A-A'断面図　1/100

北立面図　1/100

南立面図　1/100



B-B'断面図　1/100



建物の外からでもわかる
どんどん上へ上がっていく階段と
途中にあるウッドデッキ

上にいる人が視認できるため
好奇心が湧きやすくなる

東立面図　1/100

西立面図　1/100